

母性看護技術論

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・橋本美幸

科目担当者（職位・氏名）：教授・江守陽子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：72

■ 授業概要

母性看護援助論の内容の理解を踏まえ、妊娠・分娩・産褥期にある女性及び新生児の特性を理解し、母体および胎児・新生児の健康を維持・増進するための観察およびアセスメント技術を教授する。また、事例を通してウェルネスの観点に基づいた看護過程を展開することによって、母性看護に必要な情報の整理、アセスメント、計画立案、記録の方法を教授する。

さらに、シミュレーション教材を活用した演習を通して周産期各期に必要な看護技術、各期の母子（胎児）の看護に必要な技術及び実践に即した看護の基本技術を教授する。

■ 到達目標

1. 産褥期にある対象の看護展開について理解できる。
2. 新生児期にある対象の看護展開について理解できる。
3. 妊娠・分娩・産褥各期および新生児期にある対象に必要な看護技術が提供できる。

■ 教育内容

母性看護学

■ キーワード

ウェルネスに基づいた看護過程、妊娠・分娩・産褥期の健康状態のアセスメント、妊・産・褥婦支援に必要な看護技術、新生児の健康を守るために必要な看護技術

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	本科目の狙いと展開方法について ウェルネス (学生全員)	【講義】 授業の進め方、看護過程演習の説明 ウェルネスという考え方	橋本 江守
2 3	妊婦の看護にかかわる技術	【講義】 妊婦のヘルスアセスメント 内診時の援助 乳房の観察とアセスメント 超音波診断法・胎児心音の聴取 食事と栄養の支援 日常生活動作・妊娠中の運動 マイナートラブルへの対処	江守
4	産婦の看護にかかわる技術	【講義】 入院時の観察とケア 分娩進行状態の観察 産痛緩和ケア・体位 分娩直後の母体の観察 早期母子接触 胎児付属物の観察 分娩後2時間の観察	江守
5 6	褥婦の看護過程演習 褥婦の看護にかかわる技術	【講義・演習】 産褥期のヘルスアセスメントに必要な知識と技術を講義で確認しながら、褥婦のヘルスアセスメント演習を行う	橋本
7 8	新生児の看護過程演習 新生児の看護にかかわる技術	【講義・演習】 新生児期のヘルスアセスメントに必要な知識と技術を講義で確認しながら、新生児のヘルスアセスメント演習を行う	橋本
9	褥婦と新生児の看護過程の展開	【講義】 褥婦と新生児の看護計画の評価および修正	橋本

10	技術演習と看護過程演習2の準備	<p>【講義】</p> <p>帝王切開褥婦のヘルスアセスメント</p> <p>技術演習のオリエンテーション</p> <p>褥婦の身体を観察</p> <p>新生児のVS、全身状態の観察、沐浴</p> <p>授乳方法、新生児の扱い方</p>	橋本
11	<p>事例を用いての産褥期と新生児期の看護過程演習</p> <p>(Aグループ)</p> <p>妊産褥婦および新生児に必要な看護技術演習</p> <p>(Bグループ)</p> <p>11コマと12コマでA,Bグループの入れ替えをします</p>	<p>【看護過程演習】</p> <p>周産期における看護過程の展開</p> <p>グループワークにより、授業を進める</p> <p>【看護技術演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の看護技術 2. 分娩時の看護技術 3. 産褥期の看護技術 4. 新生児期の看護技術 	共同
12	<p>妊産褥婦および新生児に必要な看護技術演習</p> <p>(Aグループ)</p> <p>事例を用いての産褥期と新生児期の看護過程演習</p> <p>(Bグループ)</p> <p>11コマと12コマでA,Bグループの入れ替えをします</p>	<p>【看護技術演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の看護技術 2. 分娩時の看護技術 3. 産褥期の看護技術 4. 新生児期の看護技術 <p>【看護過程演習】</p> <p>周産期における看護過程の展開</p> <p>グループワークにより、授業を進める</p>	共同
13 14	<p>看護過程演習発表、討論</p> <p>(学生全員)</p>	グループワークで行ったヘルスアセスメントの発表及び討論	橋本
15	帝王切開分娩後の褥婦と新生児のヘルスアセスメント まとめ	帝王切開で出産した褥婦と新生児のヘルスアセスメントに必要な知識と技術の確認とヘルスアセスメント	橋本

■ 履修条件

母性看護学概論、母性看護援助論を履修していること。

■ 成績評価方法

- ・成績は筆記試験 60%、課題学習・提出物 40%の総合評価（100点）とする。
- ・また、筆記試験の合格点は 60 点以上（100 点満点）とする。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・リフレクションペーパーを使用して講義への疑問点や質問を受け付け、次の授業で解説を行う。
- ・看護過程についてはグループごとの講評を行う。
- ・実技演習についてはその場で評価する。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
母性看護学 ③ 母性看護技術
母性看護学 ② 母性看護の実践

■ 参考書・参考資料等

- ・前原澄子編（2011）『新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ』『新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ』中央法規出版
- ・佐世 正勝 / 石村 由利子編（2021）『ウェルネスからみた母性看護過程 第4版』医学書院
- ・古川亮子編著（2023）『経過・ウェルネスの視点でみる 母性看護過程』照林社
- ・太田操編（2017）『ウェルネス看護診断に基づく 母性看護過程 第3版』医歯薬出版
- ・中村幸代（2018）『根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画』南山堂
- ・NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会編（2015）『母乳育児支援スタンダード 第2版』医学書院
- ・平澤美恵子、村上睦子監（2020）『写真でわかる母性看護技術 アドバンス』インターメディカ
- ・櫛引美代子著（2021）『カラー写真で学ぶ 周産期の看護技術 第3版』医歯薬出版

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業前後の学習は授業にて指示する。
- ・事例を用いた看護過程については、事前に情報の整理をし、アセスメントと看護プランの項目について記入してくること。
- ・看護技術演習については、テキストの動画とグーグルフォームに掲載したオリジナル動画を視聴して、イメージトレーニングをして臨むこと。

■ 担当教員からのメッセージ

*授業は後半では学生を2グループに分けて行います。

アクティブ・ラーニング方式の授業です。意欲的、自律的な学習を期待しています。

事前にテキストを読み、動画を視聴したうえで授業に出席して下さい。

必要であれば、いつでも何度でもアドバイスします。

母性看護学実習に直結する内容となっておりますので、確実にマスターしてください。

実習室での演習は実習靴、ユニフォーム着用となります。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

江守：研究室 14、emori★iwate-uhms.ac.jp、随時オフィスをお訪ねください。

橋本：研究室 10、hashimoto★iwate-uhms.ac.jp、随時オフィスをお訪ねください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

担当教員は病院・産院・保健センター等での助産師および看護師業務の経験があります。実務経験を活かし、母性看護学に関する専門的で実践的な講義と演習を行っています。

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

担当教員は全員が母性看護学領域の教員として、看護学生の臨床実習指導の経験があり、初学者の知識・技術レベルを熟知しています。その経験を活かし、母性看護学に関する専門的で実践的な指導を展開します。